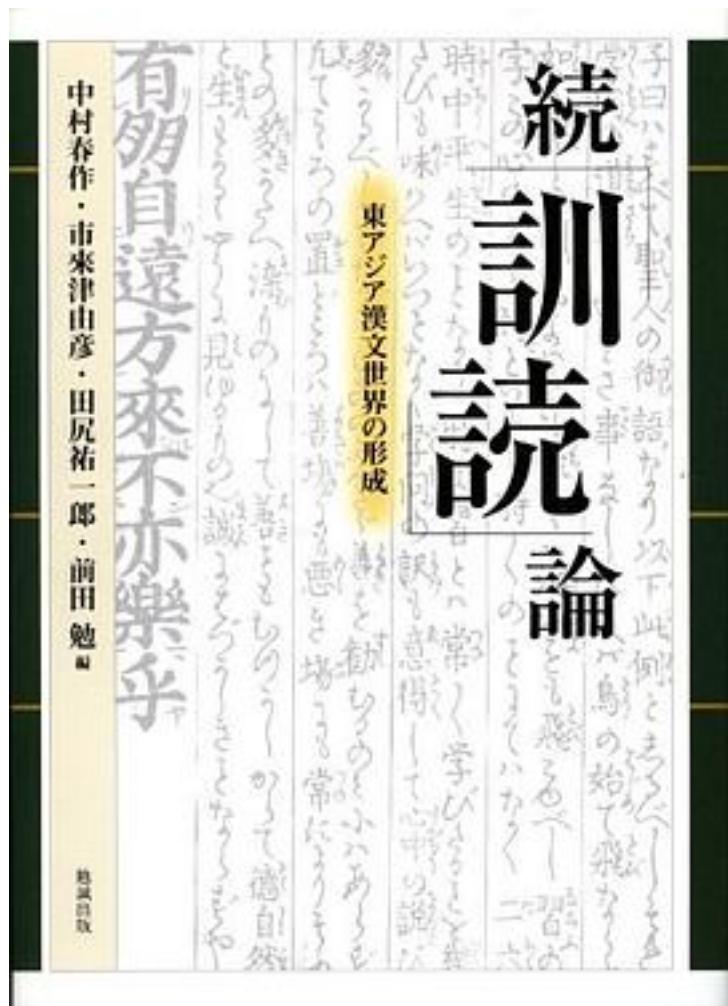


続「訓読」論



[續「訓讀」論 下载链接1](#)

著者:

出版者:勉誠出版

出版时间:2010-11-15

装帧:单行本

isbn:9784585280019

東アジアの「知」の成立を「訓読」から探る

東アジア漢文世界において漢文テキストは実際にどのような〈てだて〉で「読まれ」、そこでいったい何が生じたのか、そこから何が形成されたのか—「知」の伝播と体内化の過程を「訓読」論の視角から読み解くことで東アジア漢文世界の成立を検証する。

作者紹介:

目录: 序・「訓読」論から東アジア漢文世界の形成を考える／中村春作
I 東アジアにおける「知」の体内化と「訓読」
読誦のことば—雅言としての訓読／齋藤希史
琉球における「漢文」読み—思想史的読解の試み／中村春作
素読の教育文化—テキストの身体化／辻本雅史
明治前期の訓読体—言路洞開から公議輿論へ／前田 勉
どう訓むかという問題の難しさ／小島 毅
朝鮮半島の書記史—不可避の自己としての漢語／伊藤英人
II 近世の「知」の形成と「訓読」—經典・聖諭・土着
漢文の訓読、階層性、トポス『春香伝』の「千字文プリ（唱）」を手掛りとして／
崔在穆
平田国学と『論語』—菊池正古『論語考』をめぐって／田尻祐一郎
満洲語思想・科学文献からみる訓読論／渡辺純成
唐通事の「官話」受容—もう一つの「訓読」／木津祐子
訓読から「辺境」を考える／澤井啓一
III 「訓読」と近代の「知」の回廊—文学・翻訳・教育
白話小説はどう読まれたか—江戸時代の音読、和訳、訓読をめぐって／川島優子
近代日本における白話小説の翻訳文体について—「三言」の事例を中心に／勝山稔
明治・大正期の漢文教科書—洋学系教材を中心に／木村淳
中国思想古典の文化象徴性と明治・大正・昭和—『論語』を素材に／市來津由彦
あとがき／執筆者一覧
人名索引／書名・論文名索引
・・・・・ (收起)

[続「訓読」論 下载链接1](#)

标签

思想史

历史学

日本

教育史

中村春作

评论

[続「訓読」論 下载链接1](#)

书评

[続「訓読」論 下载链接1](#)